



## 自立っていったい何だろう？

児童養護施設 光輝寮

児童指導員 柴田 和俊

時が経つのは早いもので、縁あって光輝寮で子ども達と一緒に生活するようになってから、瞬く間に17年が過ぎ、その間に多くの子ども達との出会いや別れを経験してきました。

光輝寮を巣立った後、彼らなりに挫折や葛藤を繰り返しながらも元気に過ごしている様子を見たり聞いたりする度に、とても嬉しい気持ちになります。

先日、現在は就職して社会人となっている退寮生のM君が久しぶりに光輝寮に立ち寄り、当時を懐かしむとともに穏やかな時間を過ごして帰りました。

現在、基本的に子ども達は18才で施設を退所し、社会に巣立って行きます。

つまり、当然のことながら施設を退所してからの人生の方が長いことになります。

ところが、現状は光輝寮を退寮した全ての子が、前述した退寮生のM君のように社会に出てから施設との繋がりを持っていく訳ではなく、高校を卒業して社会に巣立ったものの離職してしまい、その後連絡が取れなくなってしまうケースも少なくありません。

子ども達が施設を退所してからのアフターケアの充実は、私達施設職員にとって、現在も大きな課題です。

現在、愛知県児童福祉施設長会がA I C H I 高校生交流会という行事を、毎年夏に開催しており、ここ数年は【自立】を大きなテーマとして、取り組んでいます。

ROOKIES代表の高井氏には、昨年度講師として参加していただき、

【社会とはいったいどんなところか】というテーマについて、実際の事例をもとに講話をしていただきました。

参加高校生達は、いずれ社会の一員になって生きていくことを現実問題として捉え、その時、自分はどうか生きていくのか？また、その為に毎日の生活の中で出来ることは何か？ということ、真剣に考えていました。

私自身、自施設やA I C H I 高校生交流会での参加高校生達との関わりのなかで、大きさや形は違えど、それぞれが『施設を出ること・社会に出ること・就職すること』に対して不安を持っていると感じます。

それが当たり前です。不安がないわけはありません。きっと社会に出れば失敗することの方が多いと思います。自分自身もそうでした。

【自立】とは何か。

私は【自分で考えて自分で行動し、自分で責任をとることが出来るようになること】だと考えます。

私の好きな言葉のなかに

①やってみせ 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ

②話し合い 耳を傾け 承認し 任せてやらねば 人は育たず

③やっている 姿を感謝で 見守って 信頼せねば 人は実らず

という言葉があります。

時に迷い失敗をしたとしても、周囲に支えられながら、自分を信じて少しずつ成長していくことが出来ればいいんじゃないかなと考えています。そしてその為に必要なのは【出逢いの縁】【感謝の気持ち】【少しの勇気】だと思います。

失敗したって、不器用だって・・・大丈夫！！いざ社会に出て荒波に飲み込まれそうになった時に、そんな不安や失敗を受け止め、それらを1人ではなく『みんなで考え』一歩ずつ成長していくことのできる居場所がある！！

これからも雇用主の皆様方や関係機関の方々と連携していくことで、社会人となる若者たちにとってこのROOKIESが、そんな存在になっていけたらと願っています。